

浅川地区住民自治協議会だより

浅 せせらぎ

みんなで創る 元気な浅川！

第 60 号

発行日 平成30年1月31日

発行人 小林 芳 信

年頭にあたって

～「元気なふるさと浅川」を目指してご協力を！～



浅川地区住民自治協議会 会長 小林 芳 信

新年明けましておめでとうございます、皆様におかれましてはご家族お揃いで清々しい年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

区民の皆様には、日頃自治協議会の行事及び事業運営に際しまして、特段のご支援とご協力をいただいておりますことに厚く感謝申し上げます。

さて、昨年の地区内を顧みますと、第1に、一昨年課題提起されましたスパイラルの管理運営について一定の方向付けがなされたこと、第2に浅川ダムにつきましては、紆余曲折を乗り越え長年に亘る諸先輩の御努力により完成竣工となり、併せて地区の新たな拠点になりうる浅川ダム展望広場が併設されたこと、第3に異常気象が叫ばれて久しいですが、8月の雨は身に危険を感じる様な降り方で、地区内においても土砂災害等が多発しました。被災されました皆様にはお見舞い申し上げますと共に速やかな復旧を願うところであります。

この様な背景のもと、2年目を迎えた「浅川地区まちづくり計画」では、先ず浅川ダム周辺環境整備での河川敷の遊歩道整備とホタルの新たな生息地の確認が出来、又絶滅危惧種である「蝶々・ゴマシジミ」の保護育成は勿論の事、小学生向けに「ガンバレ!!ゴマシジミ」の紙芝居を作成しての保護啓発活動の取組、或いはダム展望広場における地元農産物の直売等の活動に多くの皆様の協力を得て取組をする事が出来ました。又10月5日には「浅川地区みどりの移動市長室」を開催し、加藤市長と関係部署の職員にダム展望広場より八檜神社を經由して遊歩道を整備した河川敷を実際に歩いていただき、まちづくりの実態を説明し行政としての支援を強く要請したところであります。

今年は、「浅川地区まちづくり計画」も3年目の実践に入りますが、主題である「みんなで創る元気なふるさと浅川」を目指しての活動への協力をお願い致します。

最後に浅川地区が穏やかな一年であることと、皆様のご健勝とご多幸を心より祈念申し上げまして年頭の挨拶と致します。



新年祝賀会開催される



浅川地区恒例の新年祝賀会が1月3日（水）浅川公民館大会議室において来賓、区民120名余が出席の下に開催されました。祝賀会では鏡割り、乾杯の後、北郷神楽保存会の雅やかな獅子舞が演じられ新年の寿ぎに華を添えました。



経済社会情勢に行き詰まりと混迷が増大する世界の中で、人々は未来に対して展望が見出せず不安を増大させているようです。こうした状況下、地域にしっかり足を据えた“協働”と“ゆうわ”による“安心な生活”こそが求められています。浅川地区にとって本年がより豊かで活力に満ちた良き年になりますよう区民のみなさんの格段のご協力をお願い申し上げます。



浅川地区住民福祉大会開催される！



【功労表彰～高見沢徳三さん（浅川団地）、金井明靖さん（神楽橋）】



12月3日（日）浅川公民館大会議室において、第5回浅川地区住民福祉大会が開催されました。

住民福祉大会は住み慣れた地で誰もがいきいきと暮らし続けることができるように、広く地域住民が一堂に会し私たちのまち浅川を見つめ直し・考え・実行していくことを推進するために開催されたものです。

主催者を代表して小林芳信住民自治協議会会長の挨拶のあと、来賓として埴橋県議会議員、松木・寺沢市議会議員、長野市社会福祉協議会上條地域福祉課課長補佐からご祝辞をいただきました。

社会福祉協議会の事業説明のあと、地域福祉活動に長年携わっていただいた高見沢徳三身体障害者福祉協会浅川支部長と福祉自動車導入当時から福祉移送の協力会員として、また浅川ゆうわ祭福祉バザーに牛乳等のご提供をいただいている金井明靖浅川地区交通安全協会会長に地域福祉活動功労者として小林住民自治協議会会長より感謝状が贈られました。

記念公演は、東京からお招きした落語家真打の三遊亭白鳥さんの「悪徳商法とその対策」と題した創作落語を聞きました。普段イメージしている古典落語とは異なった独特の落語に会場の参加者も一体となり学びながら楽しむことができました。



【三遊亭白鳥さんの落語に会場が笑いに包まれました！】



【笑顔を作るには～白鳥さんの指導でみな熱心に！】

最後は浅川小学校PTAコーラスの卒業生を中心に結成されたグループ「ミュージックランド」の皆さんのコーラスが大会に彩りを添え福祉大会を終えました。

住民福祉大会が地域の「人と人とのつながり」を深めるきっかけのひとつになれば幸いです。

ご参加いただいた皆さん、開催にご協力いただいた皆さん、ありがとうございました。

（福祉健康部会・社会福祉協議会

会長 小山 隆）



【ミュージックランドのコーラスが大会に彩りを添えました～】

男女共同参画「女性リーダー育成講座」に参加して



【畑人権・男女共同
参画課長の開会挨拶】

長野市では「地域・社会活動における女性の参画の促進」を図るため、男女共同参画センターの企画講座「女性リーダー育成講座」を開き、



【講座の様子～みなさんの熱が伝わってきます！】

浅川地区から社協副会長の埋橋知子さん、白バラ会会長の宮澤さと子さん、西条元区長の佐藤はつえさんの3名に参加していただきました。11月まで4回の連続講座を終え、佐藤さんに参加した感想を寄稿していただきました。

～「女性リーダー育成プロジェクト」講座に参加して～

浅川西条 佐藤はつえ

長野市人権・男女共同参画課主催の「女性リーダー育成講座」（7～11月、4回開催）受講の機会を与えていただきました。

地域の未来を考えると“女性リーダーの出番です！”と誰もが感じているはずなのに、ビジネスやその他ソーシャル的にも、リーダーという位置・立場で活動・活躍している女性は50%には程遠い現状のようです。

組織や団体により、トップダウン型・フラット型等システムは様々であっても、会議や事業・活動の展開においては、その目的達成のために、目的に即したプロセスのプログラム化（組み立て等）が必要であること、又ファシリテーション、プレゼンテーション、コミュニケーション等スキルアップも必要であることを、講座を通して再認識することができました。

今後は、今回学んだ事を活かして地域にフィードバックし、微力ながら女性リーダーの支援ができるよう努めたいと思います。

里山整備活動を行いました ～「あさかわの里山と森を守る会」～

「あさかわの里山と森を守る会」では、ボブスレー・リュージュパーク（スパイラル）入口付近で支障木の伐採作業を行いました。

作業は、12月4日、5日、7日の3日間で、延べ40名の会員が参加して行われました。

当会では、これまでチェーンソーの取扱い講習や先進地視察、他団体の活動への参加など行ってきましたが、今回、初めて会員による現場での伐採作業となりました。



【寒い中での作業でも懸命に汗を流しました】



【整備後の様子】



【購入した薪割り機の威力は凄い！】

倒木や立ち枯れの目立った林内も、整備することですっきりとし、適度な手入れの必要性を感じました。当会では、このような経験を重ね、今後の里山整備活動につなげたいと思います。

なお、伐採したナラ等の材の一部は、来年4月に予定している、浅川小学校のきのこのコマ打ち体験に有効利用します。

初めて作った“えごま”を収穫しました！

～浅川地区遊休農地活性化委員会～

10月20日、今年初めて栽培に取り組んだ“えごま”の収穫を行いました。

これまで“そば”を栽培してきた門沢の遊休地に、6月19日、3アールに900本の“えごま”を植え付け、7月7日に摘心、土寄せなど世話をしてきました。収穫された“えごま”は20キロあり、JA浅川配送センターで乾燥、11月7日に選別した後、JAながの犀川アグリサポートセンターに集められ、モリシゲ物産に販売されました。また毎年作っている“そば”は10月18日に刈り取り、11月7日に選別、約390キロとなりました。

12月11日（月）には、新そばの試食を兼ねて、「そば農場実績報告会」が行われ、併せて“えごま”栽培の反省と来年の作付けの検討を行い、来年は今年の2倍の植え付けを行うことを確認しました。



えごま（荳胡麻）シソ科の一年草で東南アジア原産の植物。地方名に“じゅうねん”があり、食べると十年長生きできると言われている。脂質に含まれるリノレン酸はがん抑制や抗アレルギー作用を持ち、健康食品として注目されている。最近ではえごま油のほか、煎餅やクッキーなども販売されている。



【植え付け（6/19）】



【少し伸びました（7/25）】



【刈り取りは手作業です！（10/20）】



【刈り取られた“えごま”】



【みんなで選別開始！（11/7）】



【これだけ穫れました！】



【“ふるい”でゴミとり！】



【“とうみ（唐箕）”かけて…】



【最後にもう一度“ふるい”に】



浅川の一年を振り返って

～浅川支所長の選ぶ5大ニュース～

浅川支所長 横山 暁

浅川の2017年を振り返り、5大ニュースにまとめてみました。

1. 浅川ダム竣工される

- ・試験湛水で満水に（1月）、展望広場完成・記念碑除幕（5月）、竣工式（7月）

2. 浅川地区に災害発生

- ・集中豪雨で避難勧告発令（7月）、土砂崩れで通行止めに（8月）

3. スパイラル30年度から冬期間製氷休止を決定（4月）

- ・長野市公共施設適正化検討委員会提言（2月）、長野市が「一部休止」を正式決定、浅川地区を訪問し説明（4月）

4. 「浅川地区まちづくり計画」着々と実現に向けて動き出す

- ・浅川ダム・ブランド薬師周辺の遊歩道整備、ホタルが大発生
- ・野生希少種蝶ゴマシジミの保護育成に向けて紙芝居「がんばれ!!ゴマシジミ」完成（9月）、市内全小学校に寄贈（11月）

5. 「浅川地区の公共施設について考える～市民ワークショップ」行われる

- ・浅川地区の13の公共施設のこれからのあり方について区民50名が検討（11月、2月予定）

2017年干支の酉（トリ）は「取り（込む）」につながり、「商売繁盛」や「収穫」の年と言われます。40年間の大事業、浅川ダムの完成が浅川地区にとって、一番大きな「収穫」であり節目となりました。ダムに係る行事が続き、賑やかで多忙な一年でした。

さて、2018年干支の戌（イヌ）には「まもる」「安産」などといった意味があり、支所として地域の防災に力を入れるとともに、新たに何かを生み出すスタートの年にしたいと思います。

「赤い羽根共同募金」にご協力ありがとうございました！

募金総額 1,541,049 円

（内訳） 個人：1,320,549円、法人：220,500円

※浅川地区目標額880,000円を超過する額を基本に、住民自治協議会に還元され活動費にあてられる予定です。

共に生きる



「つながるコミュニケーションのこつ～伝える・受け取る・ともにする」

11月7日（火）、長野保健医療大学の春原み先生を講師に迎えて研修会を開催しました。協力会員やあのねの会・おはなしの森の皆さん、市社協と他地区のコーディネーター合わせて61名が参加しました。

人は一般的に『聴くより話したい』ので、いい聴き手になるためのコミュニケーションスキル（傾聴）を学びました。相手のペースに合わせて、相手の身になって共感して聴くこと。またあいづちやうなずき、くり返し（うれしいなど「気持ち」のワードを繰り返す）も重要とのことでした。研修会では聴き手と話し手に分かれ、実践してみました。なかなか難しいものでした。コミュニケーションが良くなると人間関係も変わります。皆さんも以下のことを頭に入れて家庭や職場などでさっそく実践してみませんか？



『いい聴き手になるためには』

- ① 相手の人格を尊重する
 - ・助言（アドバイス）しない
 - ・結論を出さない
 - ・お説教しない
 - ・自分の考えを押し付けない
- ② 相手の話を相手の身になって素直に聴く「共感」を身につける
- ③ 相手を評価しないであるがままを受け入れる

わたしのまちのたすけあい事業協力会員さん



家事援助協力会員で、元気印の3人！
左から平出さん、赤塩さん、宮坂さんです。

掃除・話し相手・草取り・資源回収と家の中から外の事、そして力仕事まで本当に頼りになる方々です。3人の笑顔からパワーをいただいています！

「浅川おとこ塾」

「浅川おとこ塾」に参加して

神楽橋 宮坂 和光

友人に誘われ、浅川おとこ塾に参加しました。全6回の半年、毎回違ったテーマで講師を迎え、教えて頂きました。刃物砥ぎでは講師の指導のもと、生徒同士でも教え合い、野菜の切れ味を確かめたり、松代焼では苦労しながらも茶碗を作り、後日焼き上がった作品を自慢し合いました。手打ちうどんでは「簡単そうに見えて難しいなあ」と食べながら感想を言い、美味しくいただきました。楽しいひとときを過ごさせていただきありがとうございました！



いつまでも住み慣れた地域で元気に暮らすために、健康寿命を延ばしましょう！

自分一人ではなかなか続けられない体操も、近くの公民館で、週1回みんなで楽しくやるなら、みなさん続けられる気がしませんか？

お問い合わせは
浅川社会福祉協議会 金子・富岡
(電話 262-1362)

屋敷田かがやきクラブ

福祉推進員 宮本 恵子

屋敷田地区では月曜日9時半～公民館で体操や脳トレなどの活動をする「屋敷田かがやきクラブ」がスタートしました。

最初はお茶のみサロンの一環で、体操もやってみたらどうかと検討したのがきっかけで、長野市介護保険課の中西先生やインストラクターの池田先生のご指導のもと、屋敷田区やきずな会、民生委員さんなどのご協力もいただき、まずはお試しで4回「体験」から始まりました。

毎回25名以上の方が参加し、無理なく体を動かしたり、広告やトランプなど身近な材料を使って脳トレをしたりして楽しく過ごしています。

浅川地区では初の試みです。屋敷田をきっかけに、他の地区でもこのような活動が広がっていけばいいなと思っています。

椅子を使って足を伸ばして 脳トレもみんなで楽しく♪



みんなで掛け声「1・2・3・4」



男性も積極的に参加♪

2025年には団塊の世代が75歳に到達し、医療・介護サービスを必要とする高齢者の人口が急激に増えます。介護保険制度も改正になり、高齢者が住み慣れた地域で元気に活動的に生活するために、生活支援や介護予防を提供できる体制と地域づくりがますます求められています。市内でも約110か所で体操などを行う自主グループが立ち上がっています。



♡ご寄付ありがとうございました♡

神楽橋の内山さんよりタオルをいただきました。ありがとうございました！

その他の主な事業・活動

報告 (12月～1月)

☆しめ縄づくり (教育文化部会・地公連)12月17日 (日)

今年も恒例の“しめ縄づくり”(公民館冬季学級)が行われました。浅川公民館分室に40名余のみなさんが参加、中島邑二さん(浅川団地)を講師に和やかな時間を過ごしました。みな慣れない手つきながら、真剣な表情で新たな年を迎える「我が家のお飾り」を作りました。来る年が良い年でありますように！



【講師の中島さん】



【良い年を迎えることを祈りながら！】

☆7地区合同成人式 (教育文化部会・地公連)1月7日 (日)・長野市芸術館



【誓いの言葉を述べる四柳さんと廣田さん】

幸いに雪の少ない七草の日、7公民館合同成人式(城山・中部・芹田・古牧・若槻・浅川・小田切)が長野市芸術館メインホールで開かれ、新成人1,071名が出席しました。

浅川地区からは対象者63名のうち50名(男23名、女27名)



【「恩師を囲む会」の風景】

が参加。式典前には卒業中学校ごとに「恩師を囲む会」が行われました。

式典では三登山太鼓の演奏が披露され、西部中学校の四柳真樹さんと廣田伶奈さんが新成人を代表して強い決意と希望に満ちた「誓いのことば」を述べました。

予定 (2月～3月)

☆冬季スポーツ大会 (教育文化部会・地公連)2月11日 (日)・浅川体育館

☆第2回「浅川の公共施設を考える～市民ワークショップ～」

.....2月24日 (土) 午前9時30分～12時・浅川公民館大会議室

☆男女共同参画推進講演会 (総務環境部会・人権啓発委員会 (浅川公民館冬期学級))

.....2月25日 (日) 午後1時30分～3時30分・浅川公民館大会議室

広報委員から

今年も「21世紀の生活を考える会」の冬の事業“炭焼き作業”がスタートしました。当会は発足17年目を迎え、会員の高齢化と減少のため原木の切り出しを始めそれぞれの作業の労力確保に苦慮しています。

こうした中、一昨年「あさかわの里山と森を守る会」が発足し、強力な助っ人としてプロ集団の方々にご協力いただき、今年予定の90%近い原材料が確保出来ましたことに深く感謝申し上げます。

3月末まで炭焼き体験や薪作り作業にご参加いただくとともに、近年炭やストーブ用の薪の需要が高まり、ますます生産力の向上が求められる中で、今後さらに二つの団体が目的達成に躍進することを願っています。
(「21世紀を生活考える会」会長 斎藤義信)